

こうほう ショッキング

Vol.62

Kōhō shocking



その だ ま す や
園田益也さん

●プロフィール

56歳。上対馬町浜久須出身、在住。農林業を営む家庭の長男に生まれる。諫早農業高校農業土木科卒業後、広島
の道路公団に勤務し21歳の時に帰郷、父と共に椎茸栽培に力を注いだ。現在、対州海運上対馬営業所勤務。福岡
には息子と娘、妻が住む。対馬では母と弟との3人暮らし。休みには九州内の山林ドライブや娘との九重登山を計
画する一方、良い音を目指してスピーカーを自作するオーディオ好きでもある。

○中学卒業後、農業高校に進学
されたきっかけは？

両親の後を継ぐため勇んで進
学：というよりは、地元の先輩
方がみんなこの高校に進学して
たので、後を追っかけて自分も
小さい頃から「長男だから」と
言われて育ちましたから、いず
れは実家に帰る時が来ると思い
ながらも広島で就職しました。
当時、対馬のしいたけ業は景気
が良い時期でしたから、うちも
規模拡大を目指すため、一緒に
やろうと父から言われ、思っ
たよりも早めに戻ることに
なりました。それから16年間に
たけ栽培を手掛けてきましたが、
中国産の影響などで価格が低
迷したこともあり、転職しまし
た。今はサラリーマンをしま
ら興味を持つて林業をしてい
ます。

○対馬の農林業の移り変わりを
見てきて、思うところは？

しいたけや木材、魚など第一
次産業は対馬にとって大切です。
輸送コストの問題は、行政も補
助してくれてはいますが、それ
以上に価格の低迷が大きな問題
でしょう。後継者にとっても悩
ましい問題です。そんな中で

も、対馬の山は現在伐期を迎え、
間伐できる頃になりました。対
馬のヒノキ材は重宝され、欲し
がる人もいます。上手にアピ
ールして、少しでも材価が上がる
よう創意工夫が必要だと思いま
す。

○アイデアがあればお聞かせく
ださい。

対馬の素材はそれぞれ素晴ら
しい、でも宣伝力が足りない
と思うんです。それに、流通に乗
っても生産が追い付かないとい
う話も聞きます。品目を絞
り、みんなで作って大量安定供給を
目指した方が良いのか、または
少量多品目が良いのか：どちら
が良いのでしょうか。

韓国では住宅の内装材や床材
として、ヒノキ材の需要が上が
ってきているそうです。韓国は
マンシヨン住宅が主ですから、
対馬ヒノキなど木材をふんだん
に使った戸建住宅をアピールす
る住宅展示場を、プサンあたり
にでも設けてはどうでしょう？

○多趣味でいらっしやいますか、
今後の夢や抱負は？

ある日、知人の家に行ったら
対馬ヒノキのスピーカーがあっ
たんです。これが音も良いが値

段も良い(笑)。それなら、これ
に負けない良い音のスピーカー
を、安く作るぞ！って、あれこ
れ試しながら楽しんで作って
るところです。作ると言えば、シ
ーカヤックをしたいんですが、
自分の手でカヤックを作ってみ
たいですね。

あと、自分の家の山林でペン
ションがしたいんです。プライ
ベートビーチのあるペンション
のように、プライベート林のあ
る施設を、遊歩道から自分の力
で整備して開設したい。対馬は、
山だけでなく海も楽しめる口ケ
ーションが多いですから、自然
をつま利用していくべきだと
思います。泊まりで自然を満喫
できる施設を作ろう、そういう
人があちこちに広がるといいな
あ、と思ったりします。

思うことがたくさんで(笑)。
でも、思っていたら何か叶う時
がある。一つずつ実現させたい
ですね。

毎回、登場してくださった方に
次の方をご紹介いたたくこの
コーナー。次回は上対馬町
比田勝にお住まいの江藤幸治
さんです。お楽しみに。